

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公表番号】特表 2020-517438 (P2020-517438A)

【公表日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報 2020-024

【出願番号】特願 2019-557470 (P2019-557470)

【国際特許分類】

B 0 5 D 1/04 (2006.01)

B 0 5 D 3/00 (2006.01)

B 0 5 B 5/025 (2006.01)

B 0 5 B 12/12 (2006.01)

B 0 5 B 12/02 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 1/04 A

B 0 5 D 3/00 D

B 0 5 B 5/025 E

B 0 5 B 12/12

B 0 5 B 12/02

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの噴霧ノズル (102a ~ 102h) 及び前記ハウジング (104) または起動手段 (106) の作動要素 (107a) の導電部分における電流強度及び/または電圧の分析を行い、これらの測定値と基準値との比較を行う、ことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記噴霧器 (101) は前記液体タンク (110) に加えて別の液体タンクを備え、前記噴霧器 (101) は前記送出装置 (111) に加えて別の送出装置を備え、前記送出装置 (111) 及び前記別の送出装置と前記少なくとも 1 つの噴霧ノズル (102a ~ 102h) との間には混合装置が配置され、前記混合装置内で所定の組成の混合液が作成されるように、前記送出装置 (111) の送出体積と前記別の送出装置の送出体積を制御する、ことを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 13】

前記高電圧発生器(109)の起動の前に前記噴霧器(101)の起動を行う場合、前記少なくとも1つの噴霧ノズル(102a~102h)を非作動位置(R102)から作動位置(A102)に移動させ、前記少なくとも1つの噴霧ノズル(102a~102h)及び/または前記ハウジング(104)はこのために動かされ、かつ/または、少なくとも1つのハウジング部分、特にスライドは前記噴霧ノズルに対して動かされる、ことを特徴とする、請求項11または12に記載の方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

前記高電圧発生器(109)の作動停止の後に前記噴霧器(101)の作動を停止する場合、前記少なくとも1つの噴霧ノズル(102a~102h)を作動位置(A102)から非作動位置(R102)に移動させ、前記少なくとも1つの噴霧ノズル(102a~102h)及び/または前記ハウジング(104)、少なくとも1つのハウジング部分はこのために動かされる、ことを特徴とする、請求項11または12に記載の方法。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

噴霧器101及び高電圧源109は起動手段106を介して起動可能であり、起動手段106は電気式ボタン107で構成される。この場合、ボタン107の作動要素107aは導電性であり、噴霧ノズル102a~102hに対して反対極として構成される。ボタン107は噴射のために継続した時間押す必要があるので、このようにして、使用者を確実に噴霧器101の基準電位にしっかりと接続して、使用者の帯電を回避する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、図1及び2から明らかなように、ハウジング104は、把持部128、ヘッド部129、及び把持部128とヘッド部129の間に配置された中間部130を備えており、噴霧ノズル102a~102hはヘッド部129に配置され、送出装置111は液体タンク110と噴霧ノズル102a~102hとの間に配置される。